

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	大腿骨近位部骨折患者の評価表作成と理学療法効果の検証		
1. 研究の目的と方法	大腿骨近位部骨折（頸部・転子部骨折）は、骨粗鬆症を伴う高齢者に頻発する骨折であり、受傷後寝たきりになりやすい疾患の1つとしてリハビリテーションの必要性が注目されています。リハビリテーションの治療目標は、受傷前能力の再獲得や再転倒の予防です。当院では、療法士で統一した機能評価表を用いて後方視的に大腿骨近位部骨折患者の歩行能力経過や予後予測などを分析しており、本研究では効果的な練習方法の提案に繋げることを目的としています。各評価項目はリハビリテーションを施行するうえで日常的に使用されている項目であり、測定基準は各評価項目で既に規定されているものに準じています。一般的な診療の範疇にあり、特殊な評価を行うものではありません。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2010年4月1日から2029年3月31日にリハビリテーションを受けた方主に大腿骨頸部・転子部骨折の患者さんを対象とします。また、評価結果を比較するために同年代（70-90歳代）の他疾患の患者さんも対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、リハビリテーション評価結果（筋力、バランス、歩行能力等）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院
		氏名	吉田 啓晃
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と資料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2016年4月から
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 リハビリテーション科 研究責任者：吉田 啓晃（よしだ ひろあき） 電話番号：04-7164-1111（内線 2458） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00</p> <p>機関名：東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 窓口担当者：桂田 功一（かつらだ こういち） 電話番号：03-3480-1151（内線 3356） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。